

新市民病院建設工事の安全を祈願

◎病院建設課 ☎35・2111

新島田市民病院の建設工事に先立ち、4月13日に安全祈願祭が、現病院東側の建設予定地で行われました。

建設工事関係者、地元住民、市職員や病院関係者ら約90人が参列し、工事の無事を祈願。くわ入れの神事を行った染谷市長は「市民はもちろん、志太榛原地域にとって『なくてはならない』医療機関として、引き続き地域に貢献していきたい」とあいさつしました。

新病院は、免震構造の鉄骨造り7階

建てで、病床数は445床。2021年3月の開院を目指しています。



服部事業管理者(右)と染谷市長のくわ入れ

市と市内企業2社がドローン無償利用の協定を締結

◎危機管理課 ☎36・7320

市と市内企業2社(株式会社グロージオ、大鐘測量設計株式会社)は、所有する小型無人機ドローンを無償で利用できる協定を締結しました。

両社は、災害の発生時だけでなく、橋の点検や広報用動画の撮影などにも応じ、幅広い分野で協力していく予定。グロージオの栗田良久社長は「さまざまな分野で地域に貢献したい」と述べ、大鐘測量設計の小田稔彦社長は「島田の安全安心のために少しでも役に立つことができれば」と今後の連携に意欲を見せました。



染谷市長と協定書を手にする栗田社長(右)と小田社長(左)

島田ICTコンソーシアムの活動拠点が完成

◎戦略推進課 ☎36・7127

島田市の産官学で構成する島田ICTコンソーシアムが、島田商工会議所内に活動拠点を整備し、4月2日にオープンしました。

同所は、会議室をリフォームしたもので、広さ約95㎡にインターネット回線や机などを用意。誰でも無料でワーキングスペースとして利用でき、その他にもICTに関する講座や勉強会などを開催する予定です。

会長の湯瀬裕昭(静岡県立大学経営情報学部教授)は、3月28日に行われた開所式で、「これまで『点』だった事

業を『面』にし、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に向けて進んでいきたい」とあいさつしました。



テープカットで開所を祝う関係者

「広報しまだ」が全国広報コンクールに7年連続入賞

◎広報情報課 ☎36・7118

公益社団法人日本広報協会は、4月24日に平成30年全国広報コンクルールの審査結果を発表し、「広報しまだ11月号」が、広報紙(市)の部門で入選を受賞しました。

このコンクールでは、全国の自治体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開した広報映像などを対象に、表現力や企画力・デザイン性などが審査されます。広報しまだは、7年連続で同コンクール入賞となり、6月1日(金)に新潟市で開催される

「第55回全国広報広聴研究大会」で表彰されます。

今後も、市民の皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりに励んでいきます。取材に伺った際は、ご協力をお願いします。



広報しまだ 11月号